

4月9日 山の辺の道ハイキング

今村ひとみ

山名	奈良「山の辺の道」ハイキング	山行名	4月例会			
ルート	山の辺の道 天理から桜井ルート					
山行日	2022年4月9日(日曜日)	天候	晴れ			
参加者	リーダー：今村ひとみ サブリーダー：竹原順治 男性：相川 女性：川上・中井・河野・竹原(絹)・上田・仲野・永江・上杉・伊藤(多) 合計：12名					
ルート概略図 新田辺駅(近鉄) ↓ 近鉄天理駅 ↓ 石上神宮 ↓ 竹ノ内・萱生環豪集落 ↓ 天理市トレイルセンター ↓ 大神神社 ↓ 桜井駅・解散	コースタイム					
	地名		時：分	地名	時：分	
	近鉄新田辺駅	集	7:40	天理市トレイルセンター(昼食)	着	11:20
		発	7:50		発	11:56
	近鉄天理駅	着	8:25	桧原神社	着	13:10
		発	8:45		発	13:15
	石上神宮	着	9:20	大神神社	着	13:45
		発	9:26		発	13:57
	内山永久寺跡	着	9:39	仏教伝来の地碑	着	14:19
		発	9:42		発	14:23
竹ノ内萱生環豪集落	着	10:24	桜井駅	着	14:50	
	発	10:31		発		
当日朝、皆さん駅に早めの集合素晴らしい。当日の電車代は格安購入できる方法があるので、T奥様が券売機に交渉してくださり、往復で通常1200円かかるところ860円にプライスダウン。その行動力に皆で感謝。分散して電車に乗って天理駅到着。長距離長時間のハイキングなのでしっかりストレッチ。いよいよ日本最古の道ハイキング(約16km)がスタートする。朝から雲一つない青空で歩いていて気持ちが弾む。天理の名物商店街を抜け、石上神宮に入ると神様のお遣いの鶏達が出迎えてくれた。衣服調整をしてすっきりしたところで内山永久寺跡に向かうと、そこは桜の花びらが池の水面を覆い、何とも美しい景色が見られた。環豪集落では大和の戦国時代に作られたままの形が残る集落と、春爛漫の菜の花畑、ハイカーに優しいポケットパークでは疲れた体を休ませながら、美しい山並みと大和盆地を見渡す景色に溶け込まれ不思議な時間が流れた。						
天理市トレイルセンターでは日陰のベンチをお借りして皆一列に座っての昼食。皆様からの差し入れに感謝。昼食で身体が復活した後、大神神社に向かって歩き出すと三輪山が美しく見えて来たのだが、それよりも女性の目を引くものが現れてきた。道沿いに無人販売所がいくつも現れて来る。レモン・八朔・不知火・ネギ・大福餅など、ほとんど100円~200円でどれも美味しそう。家で待つ家族のためか、はたまた頑張った自分へのご褒美か、皆さんのザックは購入した商品でパンパンになってきた。でも「これも歩荷トレーニングの一環！」と頑張って歩く(笑)。山友会のお陰で売り切れ店続出、いいお客さんとなった。						
大神神社に到着すると、2000年の伝統を持つといわれる春の大神祭が執り行われ賑わっていた。予想通り本殿前は参拝客で溢れていた。人波を縫って歩く事になりそう。前夜思いつきで作った山友会旗が役に立った。皆さん旗を目印にしっかり付いてきてくれた。滅多に見られない神輿、神主さん、大勢の巫女さんも勢揃いしており、大神神御祝いの日にその土地を訪れた事に感謝。T奥様が山友会代表で深々と拝礼して下さった。						
「あと3kmでゴールです」と伝えてもあまり良い返事が聞こえてこなくなってきた。気温が高く、日差しの暑さと、朝からの歩行で疲れが出てきたようである。寄り道を楽しみながらゆっくり歩いてゴールの桜井駅に到着したが、意外にも予定より10分も早い。みなさん流石の健脚であった。						
私のCLデビューもなんとか終了。本当に皆さんのおかげで楽しい一日が過ごせました。ありがとうございました。(今村)						
ヒヤリハット なし						



山の辺の道 ハイキング

R4.4.9 相川 広秋

天理～桜井間約16kmの「山の辺の道」は、奈良盆地を南北に走る古道の一部で、古事記、日本書紀に記載されている神話の世界や万葉集に歌われる大和三山を眺めながら、名所旧跡に立ちより、古代人の暮らしに思いを寄せながら、日本の歴史を感じとる大変意義深いものであった。

当日は晴天に恵まれ、計画どおりJR天理駅前をスタートした。長いアーケードの駅前商店街を抜けると突然、威圧される建物群が次々と現れた。何かと思っていると天理教の教会本部らしい。天理の地を初めて踏破する私にとっては、その壮大さに圧倒される始末です。

しばらく歩くと石上神宮に到着。日本最古の神社の一つで、境内は神使である鶏が放し飼いにしており、鶏小屋内では喧嘩をしている鶏達もいる。

次に観光農園と長閑な田園風景を過ぎ、拝殿が茅葺き屋根で珍しい夜都伎神社に着く。小休止の後、外敵の侵入、灌漑用水の確保等を目的に集落の周囲に濠を巡らした環濠集落（竹之内・萱生環濠集落）を横手に眺めながら、黒塚古墳、崇神天皇陵（10代・BC97～30）、景行天皇陵（12代・AD71～130）と通過していく。古墳展示館や天皇陵をゆっくり見学したい思いはあったが、時間の関係もあり次の機会に回すことになる。



さて、このあたりが丁度中間点で、これより桧原神社、三輪山、大神神社と続くが、コース上に次々と現れる無人の露店には、取り立ての柑橘類や野菜が100円で沢山並べられている。今晚のおかずや間食にと買い求め、リュックサックを満杯にする人が続出。完売するお店も出る始末となった。

大神神社（三輪明神）は、三輪山を御神体とする最古の神社で、4月9日は当神社の重要祭典である「春の大神祭」が盛大に執り行われており、参拝の人々でごったがえしていた。CLの振る旗のもとに集合し道に迷う人もなく無事に切り抜け次の目的地へ。CLのお蔭です。

いよいよコースも終盤に近づき、最後は仏教伝来の地と大和川の桜並木。百済から使節が大和川をさかのぼり、船着場のあったこの地に仏教を伝えたといわれている。優れた大型船や航海術もない時代、広大な海を渡るとは彼らにとって命がけであったに違いない。古代のロマンを感じざるを得ない。小休止をしてJR桜井駅へ。駅前で異常の有無を確認後、現地で解散した。

今回の山行を準備、実行して下さった CL、SLの方、無事に終了できたことに感謝申し上げます。



ずっと行ってみたかった最古の古道「山の辺の道」

中井 登代美

奈良の天理駅から桜井駅までの16キロメートルを神社・古墳、万葉歌碑をみて、満開の枝垂れ桜、桜吹雪、ボケの花、桃、菜の花、雪柳など、花に詳しい方々にお花の名前を教えてもらいながら春のハイキングを楽しみました。“自称晴れ女”の参加が多かったおかげで天気にも恵まれました。

石上神宮では、神様の使いと言われる鶏の鳴き声は魔除けと考えられ、鳴き声を聞くと御利益あるかも!!とのこと…。ゆっくりのんびりしているたくさんの鶏が「コケッコー」と大歓迎で出迎えてくれ、きっと多くのご利益を受けたことでしょう。

2年ぶりの参加で長距離を歩けるか不安でしたが、CLデビューのIさんの心遣いもあり楽しく参加できました。手作りの山友会の旗を片手に迷子にならないようにみんなを誘導して、バスガイドさんみたいで素敵でした！何度も下見に行ったとのこと。本当にありがとうございました。